

令和7年度第1回 北海道立女性プラザ運営協議会 開催結果

1 日時

令和7年10月9日（木） 13:30～14:40

2 開催場所

かでの2・7 620会議室

3 出席者

(1) 委員

芦名沢委員、大島委員、繁富委員、幡生委員、降幡委員、矢野根委員、柚原委員

(2) 事務局

笹谷館長、近藤副館長、浜田、加津

4 議題

(1) 令和6年度事業実績について

(2) 令和7年度事業の執行について

①事業計画及び執行状況について

②購入図書等の推薦について

5 主な意見

- 児童・生徒に対する啓発は重要であるが、病院や企業からもDV講座についての問い合わせをいただくことが多く、そうした要望に対応できるパッケージがあるとよい。
- 「イクボス」は、働き方改革も含め、男性が育児について「ヘルプ」ではなく「シェア」という意識を持つよう、組織全体で環境を提供し、そうした制度を実際に使うことができるようすることが必要。
- 集客については、長くやっていることで来ていただけることもあると思うが、短期間で集客していくためには、例えば、イベント実施時におけるイベントを何で知ったかというアンケートの回答で有効だったチャンネルを伸ばしていくことが現実の活動としては重要
- SNSは、紙の媒体よりもコスパがよく、広告費1万円で1万人分のリーチができることもある。インスタを始めたのであれば、少ない費用でもターゲットや年代、地域を絞って広告を出すこともできる。
- パパなんだからこうやんなきゃダメとか、ヘルプじゃなくてシェアじゃなきゃだめといった説教臭い話になると、何か聞きたくない感じになるので、パパが関わることで子供はこんな風に笑顔が増えていく、そんな未来をつくるためにパパの力が重要なんですよというスタンスで話していくというのが重要。
- イベントにお誘いするときにも、いいパパになるためにとか、あまり肩ひじ張らずに、子供もママも一緒に行ってみようみたいな、パパが説教される場じゃないような感じにすると来やすいと思う。
- 企業研修のような形で「イクメン」や「イクボス」もテーマになりうる。ある市では、毎年、管理職のクラスを変えて研修を行っている。
- 企業の方にSNSを提案するときには、カバー率を上げるためにFBとインスタと両方で発信することが重要。ホームページのファーストビューにインスタのアイコンを載せていないと始まらない。
- セミナーの開催方法について、コロナ以降は、ZOOM 併用で行うことが多くなっており、会場に人がいないのは寂しい

が、仕事が終わってから自宅で ZOOM でという方が一定程度増えてきている印象はある。

- 女性プラザの事業は、北海道全体が対象となるため、仮に参加する人数が少ないとしても、全道を対象に実施することが大事という抑えも必要な視点なのではないか。
- 企業に対するアプローチも重要であり、大きな企業に直接声をかけるほか、商工会議所や商工会を通じて働きかけるというやり方もある。
- 男女共同参画や女性プラザと聞くと、企業としてはセクハラの話なのかと思うかもしれないので、どういう話になるのかを整理して提案しないと誤解される懸念がある。
- 今年 4 月からの育児介護休業法の改正により、雇用者による被雇用者に対する介護休暇に関する説明義務が位置付けられているため、そうした中で、男性の育児への関わり方について話すことで企業にアプローチする方法もある。
- 集客の方法は時代によって変わってきており、今は、インスタとコクチーズを使っている。
- 集客に当たっては、講座に関心がある人に集まっていただき、集まった人を通じて発信してもらおうと効果があると思う。
例えば、男性相談は必要だと思うが、知らないから利用していないということも多いと思うので、育児参加に興味がある男性を通じて、周知を広げていってはどうか。